

事務事業名		過疎地域等自立活性化推進事業		所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
総 計 画 体 系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	政策推進G	課長名	西村 健一
	施策名	(32)地域文化の振興		担当者名	山本 亮	電話番号	0854-40-1011 (内線) 2333
	目的 対 象	市民	意 図	統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。			
	基本事業名	(097)地域文化の活用		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 1 業名 項 目 中事業 中事業 0 5 3 5 5 2 業名	企画総務管理事業 過疎地域等自立活性化推進 事業	
目的 対 象	市民	意 図	地域文化を学び、体感する。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
本市におけるたたら文化の総合的な見直し運動の推進及び文化資源を活用した関係人口拡大等に取り組むための推進母体として、「雲南市たたらプロジェクト会議」を官民協働で設立し、本市のたたら文化の魅力と価値を再点検する取組を進め、それを全市民的に共有することで、シビックプライドの確立を図った。	

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動		元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・たたら史跡再発見ツアーの開催(9月28日) ・日本鍛冶学会と共催による「たたら×鍛冶サミット in 島根」の開催(10月20日) ・「雲南たたらシンポジウム」の開催(12月16日) ・「技師道を探る会」との連携関係の構築(1月31日~2月2日) ・「大東七夕祭」記録映像の制作		なし			
② 活動指標		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
ア	市民対話集会開催回数	回			3	
イ	たたら文化传承人ヒアリング回数	回			5	
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	市民		ア	人口(人口推計)	人			37,012	
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	
・たたら文化の見直しにより、シビックプライドの確立を図る。		ア	たたら鍛冶サミットin島根参加者	人			95		
		イ	雲南たたらシンポジウム参加者	人			129		
		ウ	シンポジウム参加者アンケート(理解の深まった方の割合)	%			91		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
雲南市たたらプロジェクト会議への委託料 9,998千円		財 源 内 訳	国庫支出金	千円			9,998	
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計(A)		千円			9,998	
		正規職員従事人数		人			1	
		延べ業務時間		時間			400	
		人件費計(B)		千円			1,733	
		トータルコスト(A)+(B)		千円			11,731	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南市はかつて、たたら製鉄による和鉄生産の地として栄えた地域であり、「たたら」を機縁とする民俗文化や、神楽・祭りなどの無形文化遺産を多く残している。しかし、その資源が地域振興やインバウンド対策などに活かされていない。	2市1町で構成される鉄の道文化圏推進協議会において、平成28年に「出雲國たたら風土記〜鉄づくり千年が生んだ物語〜」として、日本遺産に認定されている。	研究者からは「たたら資源・文化が高いポテンシャルを秘めている。その活用において、たたらに「持続可能性」に着目し、その価値がわかる層(世界視点)にアピールしていく必要がある。」との意見をいただいている。

事務事業名	過疎地域等自立活性化推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 たたら文化や資源の掘り起こし活動を行い、市民のシビックプライドにして行く必要がある。たたら文化は、海外も視野に入れて発信すべき付加価値の高いものであるが、インバウンド対応が大幅に遅れているのが現状である。																								
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																									
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 全国的に海外からの旅行者が増加している中、インバウンド対策を行う絶好の機会を見逃すことになる。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由 官民連携により「たたら」資源を活用していくプロジェクト事業としての類似事業はない。																								
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる																									
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																									
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 平成30年度は国の過疎地域自立活性化推進交付金を活用して単年度事業を行ったが、令和元年からは予算がない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																									
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 官民が連携して、対策等検討していく必要がある。特に行政は関係課が横断的に連携して検討を行っていく必要がある。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 全ての市民を対象としている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) たたらサミットやシンポジウムを行い「教育・研修・観光・産業」など様々な視点からの有益な提案があり、たたら資源が持つポテンシャルの高さに市民が気づき、誇りを感じられる機会を提供できた。																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<ul style="list-style-type: none"> 市民対話集会やたたら文化の掘り起こし活動を継続して開催し、シビックプライドの更なる醸成に努めていく必要がある。 日本鍛冶学会との連携関係を構築し、「たたら×鍛冶」によるインバウンドや後継者や担い手の育成に向けた取組が必要である。 たたら文化に関する「持続可能性」に着目し、雲南市をフィールドとした企業研修や高付加価値型のインバウンドの推進などの仕組みの構築していく必要がある。 		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								

3 今後の方向性【PLAN】